

## スギの舌下免疫療法について

舌下免疫療法とは、舌の下にスギ花粉から抽出した薬を毎日投与することにより、スギ花粉に対して体の免疫反応を起こしにくくし、スギ花粉症の症状を出にくくする治療です。出てしまった症状をやわらげる点鼻薬や花粉症の飲み薬とは違い、根本から治療する治療法です。



治療効果は、治療3年目で根治17%、対症療法と同じかそれ以上の効果が約60%と、約8割の方で一定以上の効果があったと報告されています。

([https://www.jstage.jst.go.jp/article/arerugi/66/9/66\\_1172/\\_pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/article/arerugi/66/9/66_1172/_pdf))

舌下免疫療法では現在の症状を抑えるという効果だけではなく新しいアレルギーの発症を予防するという効果があることも分かっており喘息発症の予防効果も知られています。

2018年から12歳以下の小児にも治療の適応が承認され、効果は成人と同様かそれ以上との報告があります。この2年間で、小児の舌下免疫療法の新規の患者さんは約2倍に増えており、アレルギー体質のお子さんの中ではポピュラーな治療となってきました。

副反応としては主に以下のものがありますが治療開始後1カ月以内に多く、それ以降は軽くなるかほとんど感じられなくなります。

- 口内、口唇のかゆみ・口腔内や舌根部の浮腫、感覚の異常
- じんましん
- 腹部症状（嘔吐、腹痛、下痢など）
- 喘息発作
- その他（耳のかゆみ・喉の炎症や違和感・くしゃみ・鼻みず・鼻詰まり・目のかゆみ）

重篤な副反応は極めて少なく、従来の注射による方法よりもかなり安全です。舌下免疫療法によるアナフィラキシーショックは10万回に1回とされています。副作用の多くは薬の増量機に起こることが多いです。